

令和8年8月1日

特定外来生物『クビアカツヤカミキリ』にご注意ください

令和8年7月13日、特定外来生物に指定されている『クビアカツヤカミキリ』が町内で確認されました。

人体に直接の害を与えることはありませんが、サクラ、ウメ、モモ等の樹木に産卵し、幼虫が樹木の内部を食害し、被害が大きい場合には木が枯れてしまうこともあります。

クビアカツヤカミキリの特徴



体長は2～4 cm程度、全体は青みを帯びた黒色で、つやつやとした光沢があり、前胸部の背中側が赤い。

幼虫が生息する樹木の幹や根元には「フラス」という糞と木くずの茶色い混合物が見られます。



クビアカツヤカミキリを発見したら

クビアカツヤカミキリを発見した時は、その場で踏みつぶすか、市販されている殺虫剤等で駆除するとともに役場産業環境課（0465-81-1115）までご連絡をお願いします。